

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場取引所 大

上場会社名 (株)イーウェーブ

コード番号 3732 URL <http://www.ewave.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝澤 正盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経営企画室担当) (氏名) 清水 陽子

TEL 06-4705-3901

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	4,777	—	△198	—	△187	—	△106	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△4,520.67	—
21年3月期第3四半期	—	—

※21年3月期第3四半期につきましては、連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,609	1,907	52.1	79,907.21
21年3月期	4,051	2,081	50.7	87,162.60

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,881百万円 21年3月期 2,052百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2,000.00	—	1,500.00	3,500.00
22年3月期	—	1,500.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	16.8	40	△89.1	35	△90.8	19	△45.7	806.79

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 24,530株 21年3月期 24,530株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 980株 21年3月期 980株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 23,550株 21年3月期第3四半期 23,550株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 平成21年3月6日公表の「子会社合併(簡易合併)に関するお知らせ」とおり、平成21年5月1日に株式会社イービックスを合併したことから子会社が無くなり、平成22年3月期第1四半期決算短信より非連結となっております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部の経済指標等に景気回復の兆しが見えるなかで、依然として企業の設備投資は低迷し雇用情勢も厳しい状況が継続するなど、実体経済は厳しい状況のまま推移いたしました。

当社の属する情報サービス産業におきましても、不透明感が続く経済環境の下で企業の情報化投資抑制傾向が継続しており、経営環境は依然として厳しいものとなりました。

このような環境の下、当社では得意とするWeb系システム開発を中心としたソリューション提供に注力するとともに、専門的で付加価値の高いソリューション提供の拡大を図るため、下記の新分野ソリューションへの展開を進めました。

- 1) 企業の財務報告に係る「内部統制ソリューション」においては、富士ゼロックス株式会社との商品開発における基本合意を締結し、従来の業務委託/受託関係を越えた強力な事業関係のもと関連開発を拡大いたしました。
- 2) 製造業における生産性の改善需要を実現する「生産管理ソリューション」においては、厳しさの継続する経営環境で企業の生産性向上のための提案を行いました。
- 3) システム開発の納期短期化・開発コスト低減など開発効率を大幅に向上させる統合型フレームワーク「intra-mart」※の活用による開発を本格化するため、株式会社NTTデータイントラマートとセールスパートナー契約を締結いたしました。

以上のソリューション分野に加えて、企業のIT基盤構築から保守・運用にかけたサービスの提供を拡大するための体制整備など、積極的な事業拡大に向けた取り組みを行いました。

当社では、このような事業推進に加え、継続する厳しい事業環境に対処するため、事業運営の効率化と徹底したコスト削減を進めました。しかしながら案件の縮小や先送りなど受注環境の悪化や、一部不採算プロジェクトの発生などが収益性に厳しい影響を与えました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,777,625千円、営業損失198,055千円、経常損失は187,490千円、四半期純損失は106,461千円となりました。

※「intra-mart」は株式会社NTTデータイントラマートの登録商標です。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債および純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ442,375千円減少し、3,609,086千円となりました。これは受取手形及び売掛金、仕掛品等の減少が主な要因です。

負債合計は、前事業年度末に比べ268,267千円減少し、1,701,662千円となりました。これは買掛金等の減少が主な要因です。

純資産合計は、前事業年度末と比べ174,107千円減少し、1,907,424千円となりました。これは利益剰余金の減少が主な要因です。この結果、自己資本比率は52.1%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年9月25日付、当社「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました業績予想の通りに概ね推移しておりますので、業績予想の見直しは行なっておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

受注制作ソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当事業年度の第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した契約から、当第3四半期累計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては進行基準（プロジェクトの進捗率の見積りは原価比例法）を、その他のプロジェクトについては検収基準を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の売上高は35,167千円増加し、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ6,648千円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	734,731	1,019,391
受取手形及び売掛金	842,755	1,230,171
商品	3,230	—
仕掛品	244,183	561,630
繰延税金資産	165,503	66,101
その他	73,850	32,815
貸倒引当金	△1,838	△2,624
流動資産合計	2,062,416	2,907,486
固定資産		
有形固定資産	139,599	144,383
無形固定資産		
ソフトウェア	153,204	153,172
ソフトウェア仮勘定	869,936	162,931
その他	4,166	7,280
無形固定資産合計	1,027,307	323,384
投資その他の資産		
関係会社株式	—	328,428
その他	379,763	347,779
投資その他の資産合計	379,763	676,207
固定資産合計	1,546,670	1,143,974
資産合計	3,609,086	4,051,461
負債の部		
流動負債		
買掛金	162,546	379,091
短期借入金	900,000	850,000
未払法人税等	7,567	23,644
前受金	161,789	209,253
賞与引当金	25,000	130,000
その他	163,151	142,922
流動負債合計	1,420,054	1,734,911
固定負債		
退職給付引当金	237,189	183,111
役員退職慰労引当金	—	28,615
その他	44,417	23,291
固定負債合計	281,607	235,018
負債合計	1,701,662	1,969,929

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	711,337	711,337
資本剰余金	695,307	695,307
利益剰余金	642,883	819,995
自己株式	△165,292	△165,292
株主資本合計	1,884,236	2,061,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,422	△8,669
評価・換算差額等合計	△2,422	△8,669
新株予約権	25,609	28,852
純資産合計	1,907,424	2,081,531
負債純資産合計	3,609,086	4,051,461

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,777,625
売上原価	4,393,505
売上総利益	384,120
販売費及び一般管理費	582,175
営業損失(△)	△198,055
営業外収益	
受取利息	545
受取配当金	2,897
受取保険金	3,196
助成金収入	9,055
その他	2,909
営業外収益合計	18,604
営業外費用	
支払利息	6,786
その他	1,253
営業外費用合計	8,040
経常損失(△)	△187,490
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,797
抱合せ株式消滅差益	6,647
新株予約権戻入益	3,242
特別利益合計	11,687
特別損失	
投資有価証券評価損	63
固定資産除却損	4,891
退職給付制度改定損	5,041
特別損失合計	9,995
税引前四半期純損失(△)	△185,798
法人税、住民税及び事業税	2,402
法人税等調整額	△81,738
法人税等合計	△79,336
四半期純損失(△)	△106,461

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。